



ほしほし

Spring 2018



# 目次

目次	-----	2
サークル紹介	-----	3
さよならの朝に約束の花をかざろう 青嵐	-----	4
小松未可子 うちだ	-----	6
2017年度を振り返って 加藤	-----	13
座席位置の話とひかるカケラの話 27	-----	20
アニクラにハマった話、ほか あんそに一	-----	25
2017年お気に入り OP ED あすめ	-----	28
声優ランキング	-----	32
メンバープロフィール	-----	33
卒園の一言	-----	38
編集後記	-----	40

## サークル紹介

東京工業大学アニメ声優研究会(通称ボイテック)は2014年より活動を開始した東京工業大学の非公認サークルです。アニメオタクは勿論、ライブやイベントに多く参加している活動的な声優オタク、アイドルオタク等、個性的な東工大生が多数移籍しています。主な活動内容としては、工大祭での声優さんをお呼びしてのトークイベントの企画・運営が挙げられます。また、隔週のペースで総会を開催し、サークル活動に向けての会議を行っています。さらに、最近は地上波ラジオへの出演もしています。日頃はカラオケやBBQ、アニクラといった内政企画を月1で行っており、夏と春には交流を深めるための合宿を行っています。サークル員の仲が良く、この他にも集まる機会は多くなっています。

総会以外の活動への参加は基本自由ですので、他サークルとの兼サーやイベンターの方も大歓迎です。東工大に入学したはいいけど、なかなか同じ趣味の話ができる人がいない…という方！是非ボイテックに入会して気軽に話せる仲間を作りましょう！

- ・ボイテック HP

<http://www.voice-titech.com>

- ・ボイテック Twitter

@voitech\_anime

## さよならの朝に約束の花をかざろう 青嵐

昨今、一部のオタクたちの間で少しだけ話題になっている作品、『さよならの朝に約束の花をかざろう』、通称『さよ朝』をご存じだろうか？私も別段興味があったわけではないが、部屋にこもりソシャゲの周回を1日10時間とこなしているうちに精神が壊れてきてしまったので、人間らしい活動を何かしたいっ！ということで視聴してきた。結論から述べるとひじょ～～～に素晴らしい映像作品であったので、この記事を読んでいる未視聴オタクにその魅力を少しでも伝えられたらと思う。

Q 『さよ朝』ってどんな作品？

『あの花』、『ここさけ』などの作品で脚本を務めた岡田麿里氏の初監督作品、制作はP.A.WORKS、とこれだけで伝わってくる御涙頂戴系作品である。まあ実際ポロ泣きしたのだけど。主人公の声優は石見舞菜香さん、あまり聞きなれない名前かもしれないが、ここ最近『ゲーマーズ！』の星ノ守千秋や、『クジラの子らは砂上に歌う』のリコスなど徐々にメインキャラの担当も増えてきている。なんとこの声優、あの花を見て声優を志し、初主演作品があの花脚本の岡田麿里氏の初監督作品というなんともエモい境遇である。その他助演として入野自由、茅野愛衣、梶裕貴（敬称略）など堂々たるメンツだ。

ストーリーは、通常の間人より遥かに長い寿命を持ち、10代半ばで外見の成長が止まる種族「イオルフ」、その長寿の血を求めて帝国がイオルフの村を襲撃するところから始まる。両親のいないイオルフの少女マキアは何とか襲撃から逃げ延びるも、仲間も帰る場所も失ってしまう。たどり着いた暗い森をさまよっていると、賊に襲撃された村で一人の赤ん坊を見つける。マキアはその赤ん坊の母親になると決意するが…といった感じだ。このプロローグだけでもマキアがどのような問題に直面するか想像に難くないと思うが、それは劇場でお楽しみいただきたい。

Q 『さよ朝』の魅力って？

1. 特殊な形の「親子愛」

この作品の最大の魅力はここに尽きると思う。本当の親子でもなく、寿命も違

う、マキアは親に育てられた経験もない。その中でマキアがなんとか母親になろうともがく姿が非常に心に響いた。ママ大好きオタクである皆さんは息子側に感情移入しやすいのではないだろうか。私は見終えた直後はママにありがとうと伝えたくて仕方がなくなった。

## 2. メッセージ性のある細かい描写

実際に見終えた後に内容を反芻して「そういうことか！」と一人合点するものが多々ある。いろいろ考察して通ぶりたいオタク君にはもってこいである。別にそうじゃない人にもオススメだが。初見でもイオルフの民が織り続ける布「ヒビオル」が持つ意味と、主人公マキアとレイリア(cv 茅野愛衣)の境遇、心境の対比などはセンター国語 100 点の国語力の私でも考えを巡らせながら視聴することができたので、これから見るオタク君もそこに注目してみるといいかも。

## 3. 圧巻の映像美

街の描写は目を見張るほど美しく、キャラクターも常に何かを胸に秘めているような表情で描かれている。中でも特に目を惹かれたのは様々な雲が散り、単色ではないリアルな空の描写だ。私は美術の素養/Zero だからこの映像美を文章でうまく伝えられないので、ぜひとも劇場の大スクリーンで実際に見ていただきたい。2つセットで 6500 円する公式設定資料集&公式美術画集の購入をむちゃくちゃ検討しているぐらいには綺麗だった(語彙力無)

以上拙い文章だったが、極力ネタバレを避けた『さよ朝』の魅力について書かせていただいた。興味を持ってくれたオタク諸君は、上映期間もそんなに長くないと思うのでぜひとも劇場に足を運んでほしい。

Blu-ray 絶対買うから半年後ぐらいに上映会、スツツツツぞ！！

## 小松未可子

## うちだ

### 1. プロフィール

生年月日：1988年11月11日

出身地：三重県桑名市

血液型：B型（ぼくとお揃い）

事務所：ヒラタオフィス

レーベル：トイズファクトリー

### 2. 声優としての小松未可子

声優としてのデビューは2010年に放送されたテレビアニメ『HEROMAN』の主人公ジョセフ・カーター・ジョーンズです。以下に代表的なメイン役を挙げておきます。

観月小鳥（遊☆戯☆王 ZEXAL）

加藤茉莉香（モーレッツ宇宙海賊）

イオリ・セイ（ガンダムビルドファイターズ）

潮留美海（凧のあすから）

涼野いと（プリティーリズム・レインボーライブ）

戸塚彩加（やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。）

鶴誠士郎（ニセコイ）

マノン（ポケットモンスター XY）

椎名（幸腹グラフィティ）

下村泉（亜人）

ロゼ（テイルズ オブ ゼスティリア ザ クロス）

セレジア・ユピティリア（Re:CREATORS）

シンシャ（宝石の国）

玄奘三蔵（Fate/Grand Order）

少し低めな声が特徴的で、活発な女の子（加藤茉莉香など）やボーイッシュな女の子（鷗誠士郎など）や少年（イオリ・セイなど）の役が多いです。最近では年上のお姉さんの役（セレジア・ユピティリアなど）をすることも増えています。上記の役からいくつかピックアップして紹介していきたいと思います。

### 潮留美海（凧のあすから）

ヒロインのうちのひとりで、凧のあすからの中でぶっちぎりにかわいい女の子です。小松未可子さんは上で述べたように低めな声を活かした役が多いのですが、この潮留美海という女の子は珍しく高めの声で演じています。放送当時は出演アニメが少なかった上にこういう役をやるのは初めてだったのでめちゃくちゃ好きになってしまいました。

凧のあすからは7人の男女が色々な思いを抱えながら、自分の「好き」という気持ちと向き合っていく様子を描いたアニメです。詳しい設定の説明は面倒なので省きますが、登場するキャラクターは陸に住んでいる人と海に住んでいる人に分類できます。メインキャラの中で陸に住んでいる女の子は美海とその親友である久沼さゆなんですが、この二人がめちゃくちゃいい女の子なんですよね。というよりは海に住んでいる女（向井戸まなか）がゴミなんですけど。凧のあすからは本当にいいアニメなのでネタバレなしで見たいため詳しいことは言いませんが、既に見終わっている人はきっとこの気持ちを理解してもらえるのではないのでしょうか。1クール目は少し見るのがしんどいかもしれませんが、2クール目の面白さが引き立つような流れになっているので頑張って見てください。

制作は P.A.WORKS で作画には安定感があります。特に、背景には力を入れていて、とても綺麗な風景には感動を覚えました。

2クール目の OP である「ebb and flow」は美海の気持ちを歌った曲で、映像も合わさって最強です。ぜひ。

### 戸塚彩加（やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。）

主人公のクラスメイトで、テニス部の男の子です。中性的な顔立ちで女子からの人気が高く、女の子にしか見えず性格がとても良いため、主人公である八幡からは異常なほど愛されています。小松未可子さんの男の子の役の中ではかなり声



が高い方で、他作品の女の子役（涼野いとや鶴誠士郎など）よりも高いです。ぼくはかわいい男の子が好きなんですけど、戸塚に関してはあまりシコれないですね。かわいい男の子はレイプされてメス堕ちするさまが一番シコれると思うんですけど、戸塚は八幡との純愛モノが多いので微妙なんですよね。

やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。は、主人公である比企谷八幡と八幡が所属している奉仕部という部活を中心としたラブコメです。ラブコメといってもタイトルが示している通り、かなりひねくれた展開になっています。主人公が歪んだ性格な上に周りにいる女の子も全員一癖あるというなかなかめんどくさい環境なので仕方ないですね。

正直アニメに関してはキャラが動いて声が聴ける以外の良さを感じていないので、どちらかというとな原作のライトノベルを読んでもらいたいですね。全巻持っているので貸してほしい人がいたら貸します。まあ、キャストینگに関してはマジで最強だと思います。一色いろは（佐倉綾音）と城廻めぐり（浅倉杏美）はホンマに好き。

俺ガイルの楽曲は優秀なので一通り聞いてもらいたいです。おすすめなのはメインヒロイン2人が歌う「Bitter Bitter Sweet」と1期の戸塚のキャラソンである「僕たち宣言」です。

### セレジア・ユピティリア (Re:CREATORS)

Re:CREATORS という作品は、作中の現実世界に作中の創作物（アニメや漫画やライトノベルなど）の登場人物が具現化して色々起こるというコンセプトのオリジナルアニメです。セレジアは作中のアニメである「精霊機想曲フォーゲルシュバリエ」（厳密にはラノベ原作のアニメですが、Re:CREATORS の現実世界に現れたのはアニメの方のセレジアという設定です）のメインヒロインです。

Re:CREATORS の現実世界に現れてからは主人公の颯太を導くお姉さんのような立ち位置で、「年下の前では年上のお姉さんぶってしまう」という設定があるほどです。かわいい。さっぱりとした性格で見ている気持ちのいいキャラです。

個人的には1話Bパートで主人公に傷をつけてしまったことを謝るシーンや10話の覚醒シーンがお気に入りです。特に覚醒シーンの方はBGMの「BRAVE THE OCEAN」も相まってめちゃくちゃかっこいいです。Re:CREATORS というアニメの中で一番熱いシーンだと思います。

Re:CREATORS を「創作物から出てきたキャラクターが熱い戦闘を繰り広げる

アニメ」だと思っている人が多いのですが、それは誤解なのだと声を大きくして言いたいです。Re:CREATORS は創作に携わる人たちの苦労や創作の楽しさなどを描いていて、主役はあくまでクリエイター側です。タイトルに CREATOR という単語が含まれているのにそこをはき違えられては困りますね。2クール目が微妙だと言う方はアニメキャラではなくクリエイターの話だということを強く胸に刻んで見直してもらいたいです。ぼくは Blu-Ray 全 8 巻を揃えて設定資料を読みリアタイ含めて 3 周見ました。3 回見ても 2 クール目は微妙でした。Re:CREATORS で使われている音楽は ED を除いてすべて澤野弘之さんによって作られています。澤野好きなら曲だけでも楽しんでもらいたいです。OP の 2 曲はもちろんのこと、上でも挙げた「BRAVE THE OCEAN」などどれも素晴らしいです。ED の 2 曲もめちゃくちゃいい曲です。1 クール目の ED「NEWLOOK」は綾野ましろさんが歌っていてとても爽快感のある曲です。2 クール目の ED「ルビコン」は三月のパンタシアの曲で、さわやかだけどどこか切なさがあるおもしろい曲です。ぼくはこの 2 曲が好きすぎてそれぞれのワンマンライブに行くことを決めました。

### 玄奘三蔵 (Fate/Grand Order)

この女に 15 万円吸われました。

### 3. 歌手としての小松未可子

歌手としてのデビューは 2012 年にリリースされた「Black Holy」で、モーレツ宇宙海賊の ED として使われています。デビュー当初はスターチャイルドに所属していましたが、2016 年の 9 月に「Imagin day, Imagin life!」でトイズファクトリーから再デビューしました。以下に現在小松未可子名義で発売されている CD を挙げておきます。上から発売順です。

シングル

#### Black Holy

冷たい部屋、一人/夏至の果実 (K ED)

終わらないメロディーを歌いだしました。(神さまのいない日曜日 ED)

虹の約束 (魔女っ子姉妹のヨヨとネネ 主題歌)

Sail away (劇場版 モーレッツ宇宙海賊 ABYSS OF HYPERSPACE -亜空の深淵-  
挿入歌)

Latimer road

群青サバイバル (青春×機関銃 OP)

*Imagine day, Imagine life!*

*Maybe the next waltz* (ボールルームへようこそ ED1)

*Swing heart direction* (ボールルームへようこそ ED2)

ライブ会場限定シングル

ABC

波乗りライダー

*Happy tale* はランチの後に

配信限定

ロッカー

アルバム

THEE Futures

e'tuis

*Blooming Maps*

ミニアルバム

cosmic EXPO

cosmic Explosion

色々書こうかと思いましたが、曲を聞いてもらった方が早いと思うので、ぼくが作った小松未可子布教 MIX (<https://t.co/2f3jT4Cix1>) を聞いてください。もし興味が出てきたら声をかけてください。CD を貸します。

スターチャイルドに捨てられた小松未可子さんは、トイズファクトリーで Q-MHz (田淵智也・畑亜貴・田代智一・黒須克彦) という最強クリエイター集団に拾われて、大進化を遂げました。なので、まずはトイズファクトリーに移籍した後の曲 (上記の CD 一覧で斜体になっているもの) を聞いてみてください。また、曲の制作だけでなく、ライブなど全ての音楽活動を Q-MHz にプロデュースしてもらっているので、ライブも劇的に進化しました。ぜひ一度ライブに遊びに来てください。3 月に高田馬場で開催されたライブに 2 人のオタクを誘って行ったところ、とても楽しんでくれたようで、ぼくもめちゃくちゃ嬉しかったです。田淵智也は天才。

#### 4. ラジオパーソナリティーとしての小松未可子

小松未可子さんを語る上では、やはりラジオの話が必要不可欠でしょう。生放送のソロ番組を同時に 2 つ受け持っている時期もあるほど、ラジオでの活躍が見られます。ラジオパーソナリティーとしてのデビューは超 A&G+で放送された「A&G NEXT GENERATION Lady Go!!」という番組です。以下にソロで担当していた番組を挙げておきます。

**A&G NEXT GENERATION Lady Go!!** (2010 年 - 2015 年、超!A&G+)

みかこしのラジこし (2012 年 - 2016 年、ラジオ関西)

リッスン? ~Live 4 Life~ (2013 年- 2015 年、文化放送・東海ラジオ)

リッスン? 2-3 (2015 年 - 2018 年、文化放送)

小松未可子さんの代表的なラジオ番組 2 つについて軽く説明します。ラジオに関してはそこまで追えていないので詳しくは勘弁してください。

#### **A&G NEXT GENERATION Lady Go!!**

コンセプトとしては「次世代の声優界を引っ張っていく各事務所を代表する若手女性声優」がラジオを通して成長していくというもので、月曜から金曜まで一人ずつ担当する声優がいました。小松未可子さんは 2011 年 3 月まで月曜日、2011 年 4 月より火曜日を担当していました。この番組は映像付きのラジオで、様々なことをやっていました。ラジオ外でもパーソナリティーを全員集めてイ

イベントを行ったり、テーマソングを歌ったりと盛沢山でした。いくつかあるテーマソングのうち、ぼくが一番好きなのは「Open Tuning」です。Lady Go!!のベストアルバムがあるのでぜひ聞いてみてください。

### リッスン? ~Live 4 Life~

様々なジャンルのアーティストが月曜から木曜までを担当する 2 時間の生放送で、小松未可子さんは 2013 年 4 月から月曜を担当していました。基本的にソロパートとゲストパートに分かれていて、ソロパートでは毎週変わるテーマメールの紹介と固定のコーナー、ゲストパートではゲストに関する話を中心に話しています。ゲストは CD リリースが近いアーティストが多いですが、仲の良い声優などを呼ぶこともありました。ぼくはリスナーと生で電話するコーナーで採用されて、小松未可子さんとの電話を地上波で流されたことがあります。Twitter で実況している人が「なんかラブラブなカップルみたいな会話だな」とツイートしているのを見てありえんニヤニヤしてしまったのはいい思い出ですね。

### リッスン? 2-3

番組改編に伴って、1-3 時に放送されていたリッスン? ~Live 4 Life~ が 2-3 時の収録番組に変わったもので基本は同じです。つい最近最終回が放送されました。勝手に遊びに来ていた人たちがサプライズで登場してわちゃわちゃしながら終わっていく様子が小松未可子さんらしくてなんだか温かい気持ちになりました。

### 5. 終わり

小松未可子さんに関して 3 つの視点からごちゃごちゃ書いてみましたが結果的にあんま中身のない記事になってしまって頭を抱えています。小松未可子さんの好きなところはボイテックのブログの方でもちょっと書いているので ([goo.gl/zQSoUs](http://goo.gl/zQSoUs)) そっちも併せて読んでくれれば幸いです。まずは曲を聞いてもらうのが一番手っ取り早いと思うのでマジで聞いてください。そしてぼくと一緒にライブに行ってください。よろしくお願いします。

## 2017 年度を振り返って 加藤

昨年度に引き続き自分の駄文を世間に披露する絶好の機会が再び訪れたため、こうして再び筆を執らせていただく。さて、前回の開始では 2016 年度を総括する内容の記事を書いたのだが、今回も懲りずに前回と同じように 2017 年度について振り返ってみたいと思う。

### ・恋愛アニメ

まずはアニメについて。2017 年度も 2016 年度と変わらず毎クール開始前は不作、アニメ終わったなといった感想を抱いていたが、終わってみれば今期も豊作だったな…と感想を漏らすのが常となった年だった。その中でも普段から女々しいと言われる恋愛脳の私個人として光っていたと思うのが恋愛アニメだ。そこで今回は春クールの「月がきれい」、夏クールの「徒然チルドレン」、秋クールの「Just Because!」についてネタバレありで語らせていただく。これらの三本は全て恋愛アニメではあるが毛色が全く違う。まず、月がきれいとは中学生同士の淡い恋愛ものを描いたものであり非常に素直な作品に仕上がっている。途中少しだけ三角関係を匂わせて SchoolDays<sup>1)</sup> の様なドロドロとした展開を持ち出すのではないかと視聴者を冷や冷やさせることもあったが基本的には安心して毎週見られる作品であったことに違い

ないだろう。私がこの作品で気に入っているのがキャラクターの等身大性にある。これは自身の Twitter など何度か発言していることだが、主人公である安曇小太郎の中学生男子特有の感情の表現がとてもいい例である。彼はヒロインである水野茜との関係に進展がある度その感情の吐きどころとして自室の電灯のスイッチのヒモにとシャドーボクシングをしている。これは実際にアニメを視聴しているオタクにも経験があったのではないだろうか。もちろん私にもそういった経験があり、表現しきれない何とも言えない感情に任せてよくシャドーボクシングをしたものである。また彼は作中において太宰治の発言や小説の一説をしばしば引用するのだが、そういった中学生ならではの「通ぶり」というのもまたオタク男子ならば一度は通った道ではないだろうか？ こういった自身の過去の経験から主人公に自己投影をしやすいのは非常に好感を持てる点

である。しかし、それだけではこのアニメを評価することは出来ないだろう。つまりヒロインの水野茜についても触れなければならない。部活では自分の素を出せるがクラスではあまり親しい人間もおらず、ただ仲間外れにされないようにと周りに合わせようとする彼女は等身大的なこのアニメではちょうどいいヒロインである。しかしそんな調和を好む彼女が第4話において茜が小太郎と二人きりになったときに、ようやく己の不満をさらけ出し、そして彼の告白を受け入れるシーンは、非常に心にグッとくるものである。そもそもこの茜のキャラクターデザインがですね、100点なんですね。派手すぎないルックス、笑った顔、拗ねたときの顔、部活の時にだけ見せるポニーテールなどなどが非常に童貞心をくすぐります。余談ですがこの月がきれいのキャラクターデザインを行っている loundraw 氏はとても素晴らしい絵を描くのでぜひチェックしていただきたいです。話はそれだが先述の通りに第4話で彼らは結ばれるのだ。そう、12話までの残り8話は基本的に無限に二人のいちゃつきを見せられるだけなので小太郎に自己投影できないと非常に辛い作品になってしまう。しかしそうでない人も安心してもらいたい。月がき

れいは各話が終わるごとにサブキャラクターたちの恋愛を描くショートストーリーが放映されるのだ。こちらは普通に軽いラブコメ感覚で見ることが出来るので精神的なダメージを負ったとしてもそこで回復できるのでギリギリ視聴に耐えるだろう。正直月がきれいに関しては2017年度で一番好きな作品なので安易に言葉で表現することが出来ないのが本心であり、恋愛アニメについて語ろうと思った過去の自分に大喝を入れている。

さて、月がきれいの魅力も己の文章力の無さから十分に書くこともできないまま次は徒然チルドレンについて語ろうと思う。徒然チルドレンについては原作で触れたことある方も多いのではないだろうか。私もかつて Twitter か何かで見て「いいねえ〜」と叫びながらいいねボタンを押した記憶がある。さて、この作品はクラスの半分以上の男女が付き合っている異常な程に恋愛気質な生徒の集まる高校における話である。毎話3~5程度のカップルのなれそめなどを見せてくるオムニバス形式の作品である。徒然チルドレンに出てくるカップルというのはオタクの考えた最強のカップル像であり、どのカップルも見ていて非常に心を悶々とさせてくれるものであった。特に私が

一押ししたいのが「古屋純」と「皆川由紀」のカップルである。皆川由紀さんは普段は古屋君をいじって楽しんでいるタイプのキャラなのだが、まずそこが素晴らしい。自分もいじられたい、からかわれたいといった感情がふつふつと心の底から湧いてくるのだ。しかし、一方で彼女は相手から来られると非常に照れてしまう面がありそのギャップに“萌え”を圧倒的に感じてしまう。そのような萌えは安直であると考え方もいるかもしれない、しかし王道が最強なのではないだろうか。最近は通ぶりだの斜に構えるだの逆張りだのと言った単語がオタクの間で蔓延し、いかにそれを達成できたかでマウント取り合い合戦しているのを見かけるが気づいてもらいたい、かつてのオタクという人物がどういうものだったかを。彼らはみな王道に恋をして、それがどれだけ好きかで勝負していた。今のようにコンテンツを少し遊び飽きたら捨てるような消費の仕方はしていないのだ。それはさておきこの皆川由紀さん、ルックスもまたたまらない。ロングの髪に程よい胸、彼女はソフトテニス部に所属している設定なのだが、作中においてソフトテニスにいそしんでいる描写が無かったのが本当に惜しい。ただ、絶対に大学に入ってから

ソフトテニスサークルには入ってもらいたくはない。ソフトと言えどテニサーには男の毒牙が待っている、必ず彼女はサークル内で狙われてしまうだろうから。このまま古屋さんと純愛を貫いてくれ、由紀ちゃん。ちなみにこの徒然チルドレン、現在11巻まで刊行中で、12巻で完結する予定なので今からでも追いつけます、皆さん是非購入してください。ちなみに私はしっかり終電を逃して泣く泣く突入したマンガ喫茶コミックバ○ター池袋西口店にて10巻まで読破済みである。私の知り合いで11巻を持っている方、ぜひ貸していただきたいです、お願いします。

さて、最後はJust Because!だ。この作品は制作会社が悪名高きパイソロジーであることが非常に悔やまれる作品だった。しかし、絶望的な作画に対してストーリーはかなり磨き上げられたものだった。この作品は前半と後半とで恋愛の体系が変化していくのだが、その移行のさせ方が非常に素晴らしい。主人公の「泉瑛太」は父の転勤によりかつて中学時代を過ごした神奈川に受験前の高校三年の冬に戻ってくる。そこでかつての親友である「相馬陽斗」そして片思いの相手「夏目美緒」と再会するのだが、実はこの夏目が相馬のことが好きなのである。しかし一方で



相馬は同じクラスの「森川葉月」という女子が好きなのだが、その森川、相馬はおろかそれ以外の登場人物とも特に深い関係を持つわけでもなく、この互いに一直線で面倒な恋愛関係が前半では続く。また、泉は夏目の気持ちを、そして夏目は相馬の気持ちを知っているのもう手が出せないという非常に面倒な状況になっているのだ。この作品のキャッチコピーである「あいつを好きな君の横顔が、たまらなく綺麗だったから――」などと言っている場合ではない。実際には森川と相馬の決着をつけさせることで夏目の気持ちは散って、ようやく泉と夏目の話になるのかと思うと、実際はそうではない。実はもう一人「小宮恵那」というヒロインが存在して彼女がまた厄介な存在なのである。写真部の彼女は部の存続をかけてコンクールに応募するための一枚を撮るために奔走していたのだが、そこで泉と相馬がバッティング勝負しているところを目撃する。ちょうどその日は泉が転校してきたばかりの日であり、見たことの無い制服を纏った彼の姿に小宮は興味を惹かれ、そして泉と接触しその中で泉の夏目に対する気持ちを察して、彼の恋愛に協力する素振りを見せる。しかし思い出してもらいたい「あいつを好きな君の横顔

が、たまらなく綺麗だったから――」というフレーズを。そう、小宮も夏目に惚れる泉に惚れてしまうのだ。しかし小宮恵那という少女は性格上卑怯なことが出来ない子であり、夏目に対して自分が泉のことが好きである、ということを宣言してしまう。これにより無駄に夏日も泉を異性として意識し始めてしまい(もちろん他にもそういう要素はあったが)ついに後半戦、この三人の三角関係が幕開けてしまう。様々なすれ違いがあり、彼らの恋愛はこじれるのだが、この作品のいいところはあまり主人公にイラつかなくていい、というところである。三角関係モノにおける主人公というものは誠<sup>2)</sup>や孝之<sup>3)</sup>や冬弥<sup>4)</sup>そして近年ならば春希<sup>5)</sup>のようにヘタレでよくネット上では「氏ね」などと言われるような主人公が多いだろう。一方でこの泉は夏目に対する思いを出すことはしないが一方で小宮に対して思わせぶりの態度を取ることにはしない。特に彼女を振る際、まだ夏目との関係がどうなるのかわからない状況でもしっかりと他に好きな人(夏目)がいることを明示してから振っているので肝が据わっているいい主人公だったと言えるだろう。どちらかという今回三角関係は基本的に小宮が作り出したもので、作中における夏目と泉

とのすれ違いも自然発生か小宮が作り出したものであり、その小宮もつ都度、後悔や誤解の解消などに努めていることから、結果として誰か一人にヘイトの溜まることが無い素晴らしい構成になっていると言えよう。また、舞台設定も素晴らしかった。湘南モノレールの通る神奈川の情景というものは実際に存在するもので、それを知る人間からすればその場面に自身を投影してその作品をより群青的に見ることが出来、ほかのオタクに対してより通ぶることが出来る(先ほど通ぶりの否定をしたがオタクなので手の平返しは許していただきたい)。「月がきれい」においても川越という街を丁寧に描いてくれていたが、もし私が川越を良く知る人間であったらより深くハマれてたかもしれない。しかしこの作品で唯一気に入らないのが、泉が女のために上智大学を蹴り青山学院大学を受験したことだ。(解説を入れると、当初夏目は青学志望であったので、泉は同じ大学に進学して、そこで告白しようと考えていた。しかし結局夏目は青学ではなく泉が推薦で合格していた上智大学を受験することを決めていた。)上記の二つの大学ならば明らかに上智大学に進むのが正しい選択であるが、泉はたかだか数年越しの恋のために自分の志望を下げ

たのである。これが一生のものであるのならばまだ間違った選択と決めつけることは出来ないだろうが、自分でもあきらめかけていたような恋愛に対してそこまでのエネルギーを割くことが出来るのはいまいち納得が出来ない。そもそも、受験期に恋愛なんてするな、というのが気持ち悪いオタク君としての私の意見だ。思うにこの制作陣にはあまり大学受験経験者がいないのだろう。また、泉は結局青学に落ちて上智に進学し、夏目も上智に合格することで二人は再会するのだが、この結末も納得がいかない。泉は自身の合格を条件に受験を決めたのではないだろうか？再会が条件だったとしたらそもそも泉が志望校を変える必要もなかったのではないかと考えてしまう。しかし大学に進学してからの二人の恋人としての生活を考えるとまあそんなことはどうでもいいか、といった気分になってしまう。叶うのならば1年後、小宮が上智大学へと進学し、彼らと再会することで Just Because!-coda-<sup>6</sup>)が始まることを私はひそかに期待している。このような感じで半々の評価で語ってしまったが私は Just Because!が大好きだ。ただ金銭的に余裕がなく Blu-ray を1巻までしか買えていないのはここだけの話である。

さて、これら3つのアニメが2017年度で私の心に残った恋愛アニメなわけだが、これらの作品には一つだけ共通点がある。それは皆主題歌が素晴らしい、という点だ。ぜひ読者諸君にはイマココ、月がきれい、アイマイモコ、behindの4曲を聴いていただきたい。そしてすべての作品を視聴していただきたい。

#### ・アニクラ DJ モドキ

さて、もう一つ書かせていただきましたことがある。それはアニクラのことだ。アニクラについて分からない方に簡単に説明すると、アニクラというのはアニメソングを垂れ流して、好きな曲が流れたらそれを流したDJに対して感謝を伝え、目の前で高まるという一連の儀式を行う場所である。最近Twitterを見ているとセトリについて議論を醸していたので、最近アニクラでDJモドキをやっている私の意見を少しばかり述べさせていただこう。私は曲を選ぶときに、基本的には全て自分の高まれる曲で固めている。つまりあまり他人のことなど気にしていない節がある。もちろんさすがに誰も反応しないような曲を流すのはいかがなものかと思うが、アニタイやエロゲのタイ曲であれば基本的に誰かが拾って

くれるので特に気にする必要もないと思う。確かに拾ってくれる人間が少ないと「お前は伸びない」などの罵声を飛ばされることもあるかもしれない、しかしそこは逆に言えば自分にとっては常識である曲を知らない相手方が悪いのではないだろうか？つまり知識量として相手の方が劣っているのが悪いのではないだろうか？なぜならばオタクは基本的に知っている曲ならば飛び跳ねて反応するものである。地蔵しているオタクというものは大抵曲を知らないののでShazamに興じていたりDJをデイスっていたりする。そんなものは相手にする必要はないのだ。また、そういった曲ほど逆に刺さる人間には深く刺さることが多いのだ。だから、何も恥じることなく自分がアニクラで聴きたい曲でセトリを組むのが一番である。あと00年代の曲が深いとかエロゲタイは深いといった風潮が少し身内で見受けられなくもないが、それも少しおかしいのではないだろうか？前者に関しては完全に最近のアニメを追ってない老害であるし、後者に関しては、もはやアニクラですらない。私個人として一番楽しめるのは正直そういったDJだが、しかし評価できるのは極論かもしれないが最近から5年前程度のアニソンを垂れ流すDJなのではないだ

ろうか？

・終わりに

長文になってしまいましたがここまでお付き合いいただきありがとうございます。もしまた機会がありましたら来年の会誌でお会いしましょう。

・引用

- 1) Nice boat で有名になったアニメ。原作は普通に面白いのでやっていただきたい。ただ主人公が必ず浮気をするというゲームなので少し癖がある。
- 2) School Days の主人公。優柔不断かつ女癖が悪い。割と殺される。
- 3) 君が望む永遠の主人公。優柔不断。女癖は悪くないが、発言がイラッとさせることが多い。ただゲーム自体は面白いのでぜひ触れていただきたい。
- 4) WHITE ALBUM の主人公。ヘタレ。ただ状況的に彼の場合は仕方ない選択も多いと思う。
- 5) WHITE ALBUM2 の主人公。自分のことを真人間だと思ってる狂人。さすがに人間性を疑う。
- 6) WHITE ALBUM2 のラストエピソード。WHITE ALBUM2-codaから。主人公がかつて思いを寄せていたヒロインと再会することで物語が始まる。

## 座席位置の話とひかるカケラの話 27

本州最北端のクソ田舎から上京して早 2 年、もともとオタクをやりやすいように東京の大学を選んだ節はあったが当初の想像を優に超える数のイベントに参加してきた。そこで、主に座席指定のライブの話になるが、イベントにおける座席位置の話をしようと思う。といってもこのサークルには僕よりはるかに多くイベントに行ってる人がたくさんいるし、そもそも僕はある一人の声優が出演しているイベントにしか行ったことがないので「ひよっ子が何を偉そうに」と思うかもしれないが許してもらいたい。多分イベント通いの人間からすれば当たり前に分かっていることばかりを書くが、その辺のことに関しては後々言い訳を書く。

さて、まず声優関連のイベントには大きく分けてライブ、トーク、接近あたりの種類があると思う(他にもあるかもしれないが僕が経験ないので割愛)。このうち接近イベは座席位置もクソもないので特に言うことはない。ただ、接近がほぼ皆無な現場で某ステージ見学と某一緒にゲームするイベに参加経験があることだけ自慢しておく。

トークイベはライブイベに比べると座席位置による違いは少ないと思う。ただ、オタクとコミュニケーションをよくとるような演者なら前方座席の方が圧倒的にアドがあるかもしれない。そうでなければ演者の顔がよく見えるかどうかや登壇、降壇時にレスをもらえるかどうかくらいだろう。まあ演者の細かい表情の変化を見るのは割と面白いのだがこれは僕が人間観察が好きなだけかもしれない。こんな感じで後方席が前方席に勝る要素はおそらくないのだが前方席のアドはそこまで大きくないだろう。

最後にメインのライブイベだ。声優のイベントなのにメインがライブってなんでだよって感じだが僕の通ってる現場が異様にライブの比率が高いだけなのでそれは事務所もしくは本人に言って欲しい。あとオルスタはリライブで一回経験があるだけなので座席指定ライブの話をする。ここから突然文体が変わる。

### ・共通事項

前方座席の大きな利点は演者がよく見えることとレスをもらえることだろう。

これはだいたいのオタクにとって嬉しいことなのではないか。ただ、複数人グループの場合は左右の違いもある。自分の目当て以外の演者ばかりが自分の前に来ることも多々あるので箱推しでない人は前方でも少し苦い思いをすることもあろう。逆に前方座席の欠点は視野が狭くなることである。ステージ全体を視野に入れることができないので舞台装置や演出を演出家の意図通りに受け取るとは難しいだろう。また、前方だとネジ的なものだったり配線だったりその他諸々が見えるのでそういうのが気になる人だと世界観は壊されるかもしれない。さらに演者が複数人いると全員を同時に見ることができないため箱推しの人だったり、そのグループ全体としてのパフォーマンスを見たい人は目が足りないという状況になるかもしれない。後方座席の利点、欠点は前方の逆でステージ全体はよく見えるが演者は遠いしレスもなかなかもらえないだろう。通路席かどうか要素の一つだろう。座席がとても狭い会場もあるので通路席だと隣がない分少し自分のスペースに余裕ができる。以上のように座席によって様々な利点欠点があるので一概にいわゆる最前ドセンが一番いいとは言えないのではないかな。

・アリーナ系のでかい会場の場合

アリーナ席最前列でもステージとそこそこ距離があるし高低差もあるので中途半端に前方でも言うほどアドがない。花道やセンターステージ、トロッコがあるならその周辺の方がいいことも多いと思う。あと前方座席だとセンターステージにいるときずっと背中を見ることになるのも注意点だ。僕はこのせいで一番好きな曲をずっと背中を見ながら聞いた。アリーナ後方席は基本ほぼ演者が見えないので演者を近くで見たいならアリーナ後方よりスタンド席のステージ近くの方が良いだろう。

・キャパ 2~4000 程度の比較的狭い会場の場合

10~15 列目あたりでも十分レスがくる可能性がある。最前列はステージとめちゃくちゃ近いので演者が死ぬほど近い。3/11 に行ったライブはこの規模の会場で最前列だったのだが普通にステージに手が届くくらいの距離だった。最前列は演者からすると足元すぎて逆に視界に入らないんじゃないかとも思ったのだがそんなことはなかった。めちゃくちゃレスがきた。ステージが近すぎて、隣のオタクと手がぶつかったときに持ってた改チアが手からすっぽ抜け、危うく

ステージに飛んで行きかけたのが欠点かもしれない。

・キャパ 2~300 程度のリイベとかで使う会場の場合

会場自体が狭いので後方でも結構ちゃんと顔が見える。ただ前方と床の高低差がないことが多いので前に背の高めな人がいると見えにくいこともよくある。

以上、座席位置によるメリットデメリットを書き連ねてみた。ここで言い訳をすると、2月からユニットのライブツアーが始まっているので様々な席に行ってみて感じたことを記事にしようと思ったのだが、謎の強運が発動し今座席がわかってる7公演のうち4公演でそれぞれ6列目、7列目、1列目、4列目を当ててしまっていて座席のレポートリーが少なくなり企画倒れになってしまった。

結果、記事が短くなってしまったので少し「ひかるカケラ」という楽曲について書きたいと思う。ひかるカケラは僕が一番好きな曲である。ソロの「ナイモノバカリ」という曲と迷うところなのだが、ひかるカケラが一番ということになっている。。(以下 3/31 追記)3/31 のライブで初披露されたソロの「パレイド」という曲がバケモン曲すぎてもしかしたらこれが一番になるかもしれない。歌詞とかまだちゃんとわからんけど方向性的にはドストライクだし曲調も好きな部類、何よりパフォーマンスがやばかった。話が逸れた。(ここまで追記)初披露が多分2015年の2ndライブ。まだクソ田舎にいた時期なので行ってない。音源化が2016年の春あたりに出た1stアルバム「Sail Canvas」。初限についてるMVがひかるカケラなので多分リード曲。上京したばっかで金もなく今ほどモチベも高くなかったので確か2枚だけ買った気がする。僕が初めてライブで聴いたのが2016年6月の3rdライブ(2公演)。イベントに行くのが初めてだったので雰囲気飲み込まれて正直あんまり覚えてない。そもそも両日とも1曲目だったのでまだそんな気分も盛り上がってない状態でサーっと流れていった感じ。多分この時はちゃんと振り有りて歌ってた。現状ここがひかるカケラのピーク。ノントイアルバム曲なのでワンマンライブでしか歌われず、次が2016年11月1stライブツアー初日大宮公演。アンコールでひかるカケラが歌われた。このときは1公演目だし単純に盛り上がったと思う。しかし、2公演目仙台公演、3公演目札幌公演…と進んでいくうちにひかるカケラがアンコール固定なのことに気が付き始める。ただの曲順固定なら別に構わないのだが、アンコールというこ

とでしっかり歌って踊るというよりは自由に動き、自由に歌うというスタイルであった。結局全 8 公演でがつり振り付きで歌ったのは 0 回、かつ大半の公演で歌詞飛び、歌詞間違い等々がありまともに歌いきったのは 1,2 公演程度。4 公演目くらいからはアンコールが一番テンションが低かった。次が 2017 年 7 月のアリーナライブ(3 公演)。今度こそひかるカケラをしっかり振り付きで見れると思ったら今度は全公演アンコール前の最後。また自由に動き、自由に歌うというスタイル。1st ツアーのときよりはまともだったが結構期待してたのでテンションがガタ落ち。そして次が 2 月から始まった 2nd ツアー初日大阪 Day1。ここからはこれから該当ライブに参加する人でセトリを見たくないという人は数行飛ばしてほしい。と書いたところで該当ライブってさっきから何のライブの話をしてるんだとなることに気付いたので書いておくと TrySail のライブである。以下、数行ネタバレあり。大阪 Day1 でひかるカケラはなんとバラードアレンジという形で歌われてしまった。しかも長くなるので 2 番カット。もはや振り付きとか歌い切るとかいう話じゃない。ちなみに僕はバラードが結構嫌い。そして大阪 Day2 でも同様に歌われたことでバラードアレンジ固定を確信。現在 6 公演目までバラードアレンジで歌われている。もう結構諦めているがどこかのタイミングでセトリが変わり、がつり振り付きのひかるカケラを見れることを祈っている。

ライブでのひかるカケラの使われ方的にメンバーに相当大事にされている曲なのは理解できるしそれはそれでありがたいのだが、僕はちゃんとしたひかるカケラが見たい。流石に 2 年お預けくらってるのはきつい。歌詞も振り付けもめちゃくちゃ好きな曲なので。まあ振りちゃんとして欲しいのはラスサビの指差しの振りでレスをもらいたいというのもあるけど。

以上、僕の記事です。本当は全然違う内容の記事を書こうと思っていたんですが、ちょっと内容がひねくれすぎているのでやめました。一応この会誌は新歓も兼ねてますしね。気になる人は個人的に聞いてください。



あとなかなかこうして外に発信する機会もないので全然関係ないですが最近好きなバンドをいくつか紹介しときます。本当に全然関係ないです。

- ・嘘とカメレオン - <https://youtu.be/lscuxZT45Io>  
曲調的にそのうちアニタイとかもやりそう。キングレコードからメジャーデビュー決定済。
- ・vivid undress - [https://youtu.be/PZK\\_0lCzrao](https://youtu.be/PZK_0lCzrao)  
これもアニタイとかやりそう。今一番好きかもしれない。インディーズ。
- ・神様、僕は気づいてしまった - <https://youtu.be/Ayqq7qSOxV8>  
中学のとき好きだったボカロ P に曲調が”似ている”。中学のとき好きだった歌い手に声が”似ている”。一応外部発信の記事なのであくまで”似ている”だけであることにしておく。
- ・ポルカドットステイングレイ - <https://youtu.be/WJW7kS9AAI4>  
まあ普通に有名どころ。
- ・PENGUIN RESEARCH - <https://youtu.be/dsuJEe5R1ig>  
オタクには馴染み深いと思う。堀江晶太が好きなだけ。
- ・そこに鳴る - <https://youtu.be/n7MyoBki9wk>  
つい最近見つけた。めっちゃドコドコしてる。
- ・the peggies - [https://youtu.be/O7Nh\\_HMaj0A](https://youtu.be/O7Nh_HMaj0A)  
Sony。だからなにということはないけど Sony。

文体めちゃくちゃだし色々適当に詰め込んだ記事になりましたが読んで頂きありがとうございました。

## アニクラにハマった話、ほか あんそに一

この大学に入るまで、ぼくは典型的な在宅オタクだったのでイベントやライブに行ったことも無く、ましてやアニクラなど存在も知りませんでした。イベントに行き始めたきっかけである個人的史上最高アニメであるところの「灼熱の卓球娘」の話は別の機会に回すことにして、ここではアニクラひいてはDJにハマってしまった哀れなオタクの話をするにしましょう。

そもそもなぜアニクラに行き始めたかという、このサークルの影響です(ボイテック最高)。アニソンを大音量で聴いて楽しくなる会と聞かされてノコノコとついて行ってしまったのが運の尽き、翌朝にはオタ芸を打てるようになりたいなどと発言するオタクが出来上がっていました。

そしてまたもや転機が訪れます。WASK との合同アニクラでのDJ募集で軽い気持ちで手を挙げたところDJをすることになりました。中2の頃にアニメを見始めた浅いオタクが考えたセトリが刺さるか当日までビクビクして過ごしていたのですが、高まったオタクに胸ぐらを掴まれる程度には刺さったみたいなのでよかったです。このときに自分のかけた曲でオタ芸したり床をのたうち回ったりしているのを見てとても楽しくなってしまったので、その後もちょくちょく身内のアニクラでDJをするようになってしまいました。

結局何が言いたいかというと、「1年もあれば人は変わってしまう」ということと「アニクラにみんな行こう」ということです。

自分語りの種も尽きてしまったので残りの紙面を使って特に好きな曲を挙げていきたいと思います。

### ・SEVENTH HAVEN / セブンスシスターズ / Tokyo 7<sup>th</sup> Sisters

EDM調でアニクラ映えする曲。この曲に限らず低音とかドラムが強い曲やエレクトロサウンドはデカイ音で聴くのが楽しいですね。ナナシスはアプリゲー以外のコンテンツが無いのに曲が至る所でかけられているせいで既に飽きられ始めているという話も聞きますが、ストーリーが素晴らしいので未永く続いて欲しいですね。

- ・キリステゴメン / 東雲夏陽(日南結里) / ここなつ  
ギターがめっちゃかっこいい。シャキーンって音もかっこいい。間奏から C メロもかっこいい。とにかくかっこいい。
- ・TRUST / 小仏凧(佐倉薫) / イロドリミドリ  
ジャケット写真がエロい。音ゲー曲でゴリゴリのピアノじゃないキーボードメインの曲ってあんまり無いんじゃないでしょうか。イロドリミドリは知名度こそひなビタ♪に及びませんがいい曲がたくさんあるので聴いて欲しいです。
- ・激凸!?!ウリティ☆ウリリズム / ウリたん(花守ゆみり) / えとたま  
作曲 cosMo@暴走 P の猪突猛進感溢れる一曲。BPM216 なので BPM110 あたりの曲とうまくつなぎつつ一気にテンションを上げるのが良さそう。えとたまは 2D と 3D を上手く使い分けた名作なので見ましょう。
- ・魔法少女シンドローム / 虹野ゆりか(大森日雅) / 六畳間の侵略者!  
ベースとクラップが非常に気持ちいい。ヘタレ声でふあいおーって言われるのでとても興奮します。
- ・恋のアルゴリズム / ハッカドール 2 号(奥野香耶)&ハッカドール 3 号(山下七海) / ハッカドール  
ミドルテンポのゆったりした曲だけど縦ノリしたくなる。ドラムの入りのドゥルルルルってところが個人的に大好きなポイントです。
- ・うまびよい伝説 / (8 パターンくらいあります) / ウマ娘プリティーダービー  
ファンファーレから始まるので繋ぎが難しい。推しの名前を叫んだり走り回ったりできるので聴いている側からすると非常に楽しいです。アニメやゲームがもうじき始まるので楽しみなコンテンツですね。
- ・ミッションインパクト / 天下ハナビ(高野麻里佳)&出雲ほくと(桑原由気) / 灼熱の卓球娘  
イントロ・アウトロのピアノが最高ですね。卓球娘のデュエット曲はどれも

それぞれの関係がうまく歌詞に表れているのが素晴らしいと思います。間奏の左右への音の振り方も気持ちいい。

長々とまとまりのない駄文を書き連ねてしまいましたが、今後ともボイテックをよろしくお願いします。

## 2017 年お気に入り OP ED おすすめ

アニメのオープニング(OP)やエンディング(ED)には、放送期間中繰り返し流せるように素晴らしい主題歌やセンスのいい映像が用いられることが多く、ある意味本編よりも手のこんだシーンとも言えるかもしれません。去年も沢山の OP ED が放映されましたが、その中でも特にお気に入りだったものを紹介したいと思います。

冬

ガヴリールドロップアウト OP/ガヴリールドロップキック

ギャグアニメに相応しい楽しい OP です。セリフが多めできちんとキャラクターの性格がしっかり出ています。伴奏の種類で天使と悪魔を分けているのもいいですね。ラストで地球が爆発する OP のアニメは名作(持論)。

小林さんちのメイドラゴン OP/青空のラプソディ

なんとまあキャッチーな曲なこと。OP 映像もアニメでしかできない演出が多く、とっても楽しく仕上がっています。個人的には終盤のエルマの千歳飴のシーンが好きです。この曲に関しては MV のダンスも魅力の 1 つと言えますね。星野源さんの恋ダンスのように真似しやすく楽しい振り付けで、思わず踊りたくなっちゃいます。

リトルウィッチアカデミア ED/星を辿れば

この ED の好きなポイントはイントロ部分とサビ前の映像です。水の中で様々な色やモチーフが躍動するような美しい映像には、毎回目を奪われていました。それと対応するようにキャラクターの絵には静止画が用いられていて、静と動のバランスも見事です。作中の魔法のイメージにピッタリの優しい雰囲気 ED です。

春

### アリスと蔵六 ED /Chant

ふわふわと漂うような雰囲気は作品によく合っています。コトリンゴさんが「この世界の片隅で」を観てから好きなんです。輪唱のように畳み掛けてくる後半が特にいいですね。もしかして私ってこういう感じの儂げな ED が好きなのかもしれませんね。近年だと「フリップフラッパーズ」や「人類は衰退しました」なども同系統で好きです。

### ツインエンジェル BREAK OP /ラブって♡ジュエリー♪えんじえる☆ブレイク!!

賭博の多幸感がドバドバ出る感じがあべにゆうぷろじえくとさんによってしっかりと表現されていますね。執拗なまでのハモリや合いの手、ピコピコサウンドなどによって中毒性の高い楽曲になっていて、アニクラで初めて聴いてからひたすら頭に残っていた記憶があります。

### 夏

#### アホガール OP/全力☆Summer!

これは特に目を引く OP です。毎話ごとに全く違う内容で面白く飽きがこないが、演出の工夫と時間の短縮で製作コストは抑えられているという画期的な手法だと思います。楽曲も夏にぴったりなトロピカルな雰囲気かつ、所々(特に一番最後)にアホガール感がしっかり出ているのもいいですね。

### NEW GAME!! ED/ JUMPin' JUMP UP!!!!

この楽曲は OP の STEP by STEP UP ↑↑↑↑ と対応していて、サビの出だしなどが共通しています。OP ED があるアニメならではの仕掛けですね。映像は作中で製作しているゲームの内容から引用されており、作品を観ていく途中でそこに気付かされる仕組みも楽しいです。完全週休 2 日制以上の職場でしか労働したくない。

### プリンセス・プリンシパル OP/ The Other Side of the Wall

全然アニソン感のない、おしゃれでカッコいい楽曲です。この作品の OP と ED はどちらも歌詞が英語になっていて、作品の異国感がより際立っています。映像の中にはスチームパンクらしく大量の歯車や架空の機械が登場し、作品の

PV のような OP になっています。

#### メイドインアビス OP/ Deep in Abyss

希望に満ちた、冒険心をくすぐられるいい OP ですね！A メロやサビ前半は爽やかな曲調であるのに対して、サビ後半から不安を煽るような曲調になり、曲の途中で突然終わってしまう構成が憎らしいです。また、スタッフやキャストのクレジットが日本語の裏に現地語の文字によっても書かれていて、ファンタジー要素が映像以外からも感じられる作りになっています。

#### 秋

##### アイカツスターズ! ED/森のひかりのピルエット

この ED は映像と楽曲のマッチングが素晴らしいです。浮遊感のあるクリアな楽曲に、うさぎになったキャラクター達がぴったり合います。本当にデザインが可愛く、ゼリーに埋まったり、釣りをしたり、にんじんを運んだりする演出も可愛さ全開で最高です。ED デザインを利用した商品が発売されていることも嬉しいですね。

##### アニメガタリズ ED/グッドラック ライラック

作詞が只野菜摘さん、作曲と編曲が田中秀和さんという、聴く前から投了したくなるような製作陣による楽曲です。サビ前のピアノがなんとも絶妙です。最近では 1 クールに 1.2 曲田中秀和さん作曲の曲が OP や ED で使われており、ファンとしては本当にありがたいです。この曲 OP はサビの 3D モデルによるライブ映像も相まって、アイカツ！シリーズの楽曲を思い出さずにはいられませんね。本編でもアイカツ！ネタを使っている回もあったので、何かと親近感の湧く作品です。

##### このはな綺譚 OP/ココロニツボミ

この OP で特に気を引くのは、綺麗な背景美術ですね。特に序盤の方の、朝の低めの太陽の光がさす旅館の情景には、実際にこのはな亭が存在して、それを写真で撮ってきたかのような気すら起こります。また、このはな綺譚の ED は、1 クールアニメでありながら作品内の季節に応じて春夏秋冬の 4 パターンを移り変わっていくという仕組みになっています。時間や季節の変化を大切にする作

品ならではの工夫ですね。

#### 少女終末旅行 ED/ More One Night

まず、思わず体を動かしたくなるような音使いやタメのある楽曲が最高です。さらに、この ED 映像はなんと原作者のつくみずさんが 1 人で製作しています。漫画家の作るパラパラ漫画というだけあり、とてもクオリティの高いものになっています。また、サビ後の意味ありげなカメラが壊れるシーンはとても気になります。原作をまだ読んでいないのですが、このような伏線を ED で張られると興味が湧きますね。

#### ブレンド・S OP/ぼなべていと・S

OP のお手本のような OP ですね。場面がコロコロ変化し飽きさせず、全体的に音や歌詞に合わせた動きも多く、見応えバッチリです。クレジット表記も映像の中に組み込んでいるのもいいですね。楽曲についても、ジャズのような音使いに加えて所々で入る合いの手がなんとも楽しいです。個人的には、同じく飲食店が舞台の WORKING!! の OP (とっても好き) に多少なりとも影響されているのではと勘ぐっています。



# 声優ランキング

ボイテックのメンバーへそれぞれのテーマに合う声優を挙げてもらうアンケートを実施し、その結果をランキング形式(敬称略)で発表します。

## 1. 演技がうまい

一位 黒沢ともよ、悠木碧  
二位 沢城みゆき、伊波杏樹

一位は飛び抜けて票が入っていました。若手の中では演技力が目立ちますね。

## 2. 歌がうまい

一位 水樹奈々、早見沙織  
二位 高垣彩陽、田所あずさ、Machico

妥当ですね。もうそろそろニューフェイスが出てくるかもしれません。

## 3. 絵がうまい

一位 悠木碧  
二位 井上麻里奈  
三位 上田麗奈、小林ゆう、降幡愛

イベントなどで絵を描く機会も多いでしょう。個人的には上田麗奈さんの描く絵がすごく好きです。

## 4. トークがうまい

一位 西明日香  
二位 高田憂希

2年前に当サークルでもお呼びした西明日香さんがダントツの一位でした。サークル内での評価は根強いですね。

## 5. 2018年の注目 (推し以外)

一位 鬼頭明里  
二位 今村彩夏、高田憂希

二位に大きく差をつけての一位となりました。この他にも多くの名前が挙がっていました。今年の活躍が楽しみです。

## 6. 生まれ変わりたい声 (女性声優)

一位 茅野愛衣、能登麻美子、早見沙織、日高里菜

票が割れに割れ2票が最多となりました。いろいろなタイプの声がランクインしています。

## 7. 生まれ変わりたい声 (男性声優)

一位 内田雄馬、大塚明夫、斉藤壮馬、櫻井孝宏、中村悠一、宮野真守

こちらも票が割れ2票が最多です。当然ですがイケボぞろいですね。羨ましいです。

以上、ボイテックのメンバーによる声優ランキングでした。

## メンバープロフィール

### ①2017 年度で一番面白かったアニメ

ポイテックのメンバーに答えてもらった 2017 年度アニメを一言と一緒に発表します。

#### **Just Because!**

- ・(やなぎ。)

#### **Re:CREATORS**

- ・本当はこのはな綺譚だと思います。(うちだ)
- ・別に面白くなかったけど今年度これしか見てないので。(27)

#### **いぬやしき**

- ・冗長すぎず、急ぎ足でもなく良いテンポだった。対照的な2人のメインキャラが良く映えていて、それだけに10話、11話のやりとりは一見の価値があると思う。(ヒコ太郎)

#### **ゆるキャン△**

- ・BGM や背景、環境音でものすごく空気感が伝わってきて好きです。こっそり一人キャンプ計画してます。(青嵐)

#### **アホガール**

- ・悠木碧(ほね)

#### **キラキラプリキュアアラモード**

- ・キラッとひらめいた?(なめたけ)

#### **ブレンド・S**

- ・OP が好きです(あんそに一)

#### **メイドインアビス**

- ・2017年に放送された中で唯一最後まで見たアニメ(てってれ)
- ・第10話が忘れられません(あすめ)

## **ラブライブ！サンシャイン！！**

- ・毎話心にきました（たびびと）
- ・いや、サンシャイナーだからとかそういうのじゃなくて、純粹に二期は色んな伏線があって色んな解釈をする事が出来たのでここで述べさせてもらいました。（けんみ）

## **銀魂**

- ・泣いた（バーモス川元）

## **終末なにしていますか？ 忙しいですか？ 救ってもらっていいですか？**

- ・かわいそうだった(小並感) (しらどん)

## **食戟のソーマ 餐ノ皿**

- ・あんまり言ってないけどかなり好き（オズ）

## **月がきれい**

- ・はやくあれになりたい。（加藤）

## **宝石の国**

- ・これが“芸術”ですよね……（ぬるま湯）

## **僕のヒーローアカデミア**

- ・ジャンプ作品熱いですよねやっぱ（あいこーん★）

## **政宗くんのリベンジ**

- ・安達垣愛姫の脚がエロい（ほむ）

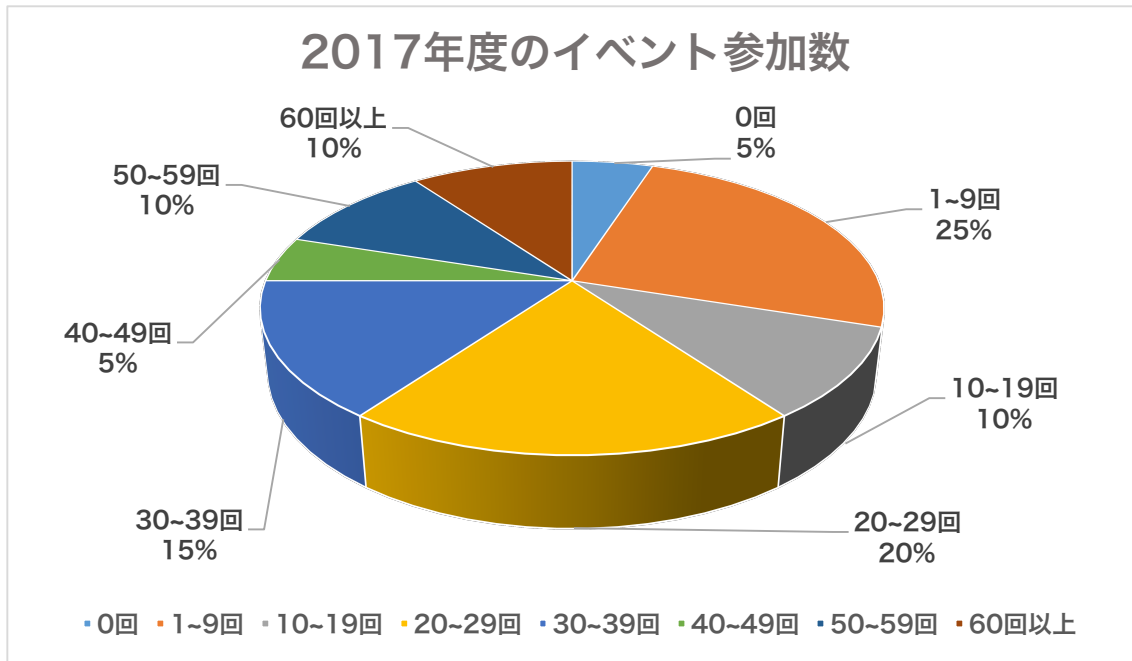
## **三ツ星カラーズ**

- ・毎回毎回気持ち悪い笑顔しながら見てました。あと、「ゲームクリ""ア""ー」じゃなくて「ゲームクリ""ヤ""ー！」なんで間違えないでください。（しまうま）

2017年度のアニメを振り返ってみました。回答時点で冬アニメはまだ放送途中なので、今頃別の作品を挙げれば良かったと言ってる人もいそうですね。2018年度のアニメはどうなっていくのでしょうか。

## ②2017年度のイベント参加数

近年は毎週のように数多くのオタクイベントが開催されています。ボイテックのメンバーはどのくらいイベントに参加しているのか調査しました。

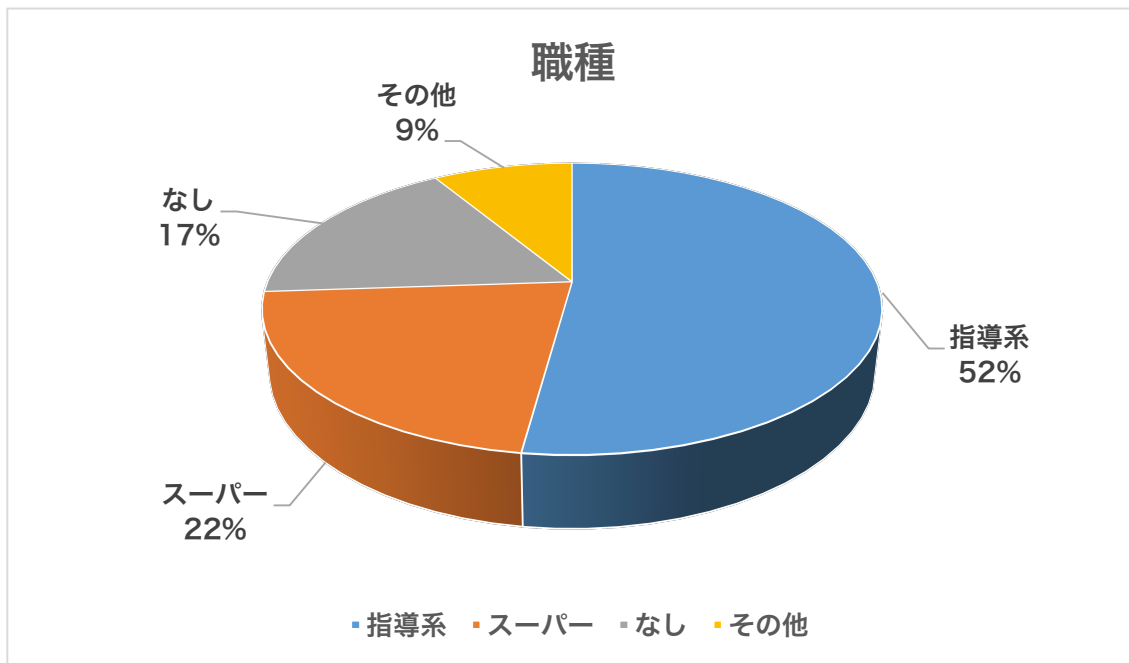


個人的にボイテックでは現場離れが起きていると思っていたので意外な結果となりました。なんだかんだイベ行ってるんですね。多数派は10回未満のグループと2,30回程度のグループでしょうか。ちなみに60回以上とまとめていますが内訳が90回、103回となっており群を抜いています。しかし、両者ともおそらくアイドルオタクであるので納得の数字と言えるでしょう。アイドルオタクでないであろうメンバーの最多は58回でした。

### ③アルバイト

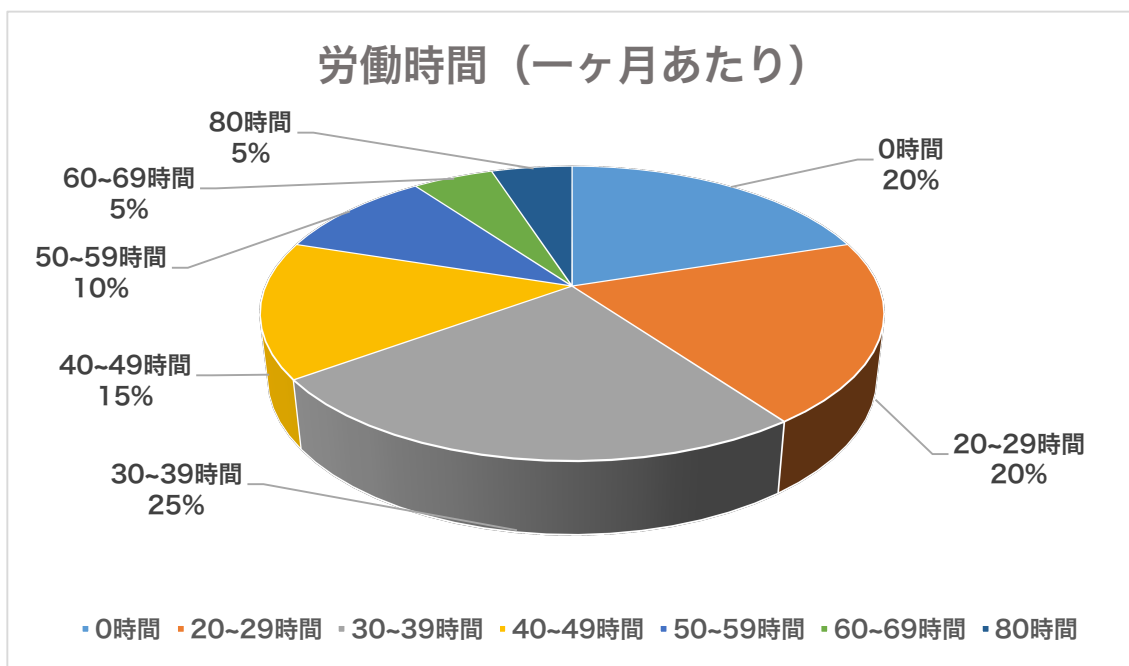
お金を比較的多く使うであろうオタクのアルバイト事情を調査しました。

#### ・職種



\*バイト掛け持ちは延べ人数でカウント

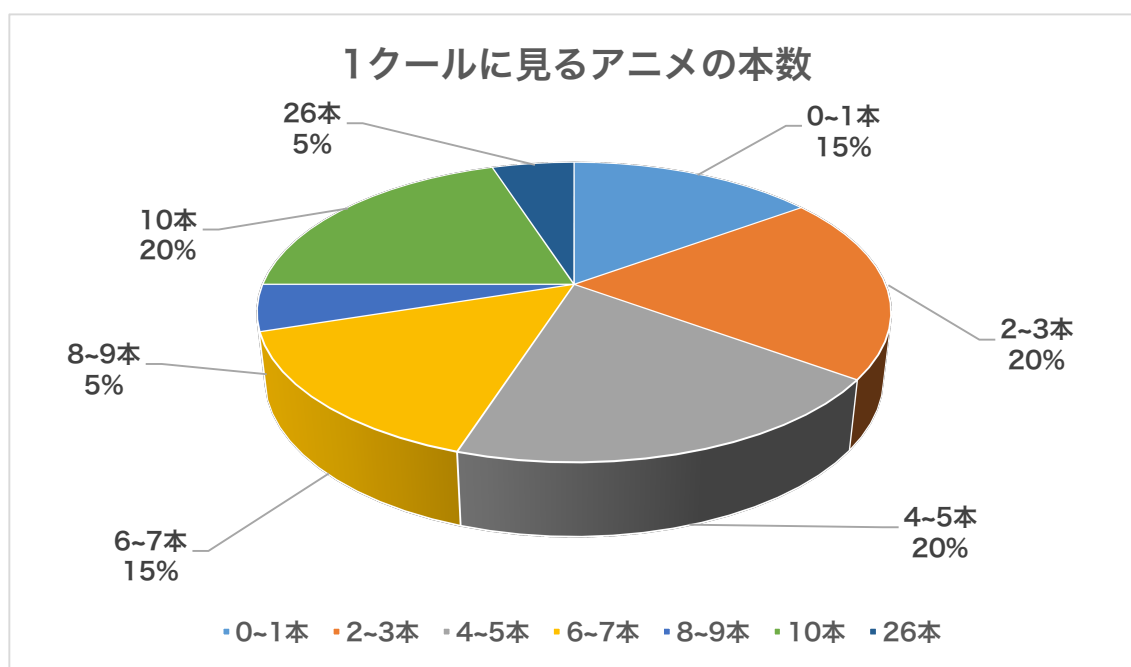
#### ・労働時間（一ヶ月あたり）



指導系のアルバイトは毎年人気ですね。今まで当サークル内では某スーパーがなぜか指導系に次ぐ人気を誇っていたのですが、相当人数が減ってしまいました。また、2,30 時間程度の労働をしている人が多いようです。

アルバイトを考えているけれどなかなか決められないという学生オタク諸君はこれらを参考にしてみてくださいはいかがでしょうか。

#### ④1 クールに見るアニメの本数



アンケートをとって見たものの特に面白い結果にはなりませんでしたが。回答がアバウトになる質問だったので統計がとりにく過ぎました。今見てるアニメの本数とかにすればよかったですね。いい感じにスペースが空いたので結果だけ掲載しておきます。なんかやたらと本数が多い人がいますが彼こそがアニメ声優研究会会員として本来あるべき姿なのかもしれません…。

## 卒園の一言

卒園（引退のことです）に際して一言頂きました。

### てってれ

幹事長でありながら、アニメ、声優の研究を怠っていたこと、申し訳なく思っています。これからは少数精鋭の16を中心に、楽しくオタクしてください！ありがとうございました。

### バーモス川元

ポイテックよ、永遠なれ。

### ほむ

3年間このサークルに関わられて楽しかったです。今後、もっとデカイサークルになることを期待しています。

### 青嵐

元は入る気なかったサークルだけど大学生活の付き合いの99%がここに集約していたので入ってよかったです。皆さんありがとうございました。

### あいこーん★

とても楽しかったです(^。^)

### ぬるま湯

アイスタもプリパラも終わって丁度いいので引退します

### ヒコ太郎

華のないハナクソみたいな大学生活でしたが、辛うじて面白いハナクソになりました。どうもありがとうございました。

**たびびと**

なんか気づいたらサンシャイナーになっていましたが色々とお世話になりました

**なめたけ**

え、まじか

この他4名を合わせて13名が卒園します。今までありがとうございました！



## 編集後記

この度は東京工業大学アニメ声優研究会ボイテックの開始をお読みいただき誠にありがとうございました。いかがでしたでしょうか。

昨年度、ボイテックは工大祭で声優の田中美海さんをお呼びしてトークショーを行うという大きな活動を行いました。声優さんをお招きしてのトークショーはこれで3回目となり、サークルの名前も徐々に広まりつつあります。また、地上波ラジオへの出演など活動の幅を広げ、勢いのあるサークルとなっています。今年度も工大祭での活動を考えており、それ以外にも様々な活動をしていく予定ですので、ボイテックに興味を持たれた方は是非新歓等へのご参加をご検討ください！もちろん入会も歓迎しています！

編集長：27

表紙イラスト：西住のぶ

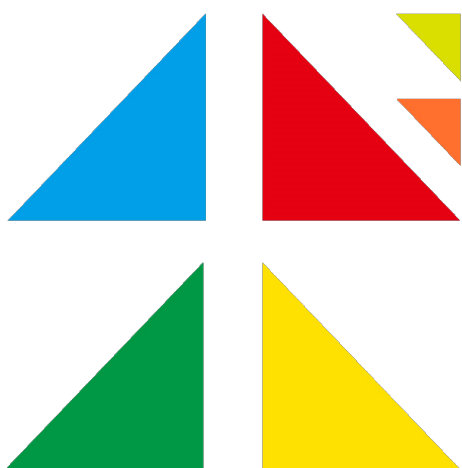
文：青嵐、うちだ、加藤、27、あんそに一、あすめ

2018年4月2日

編集・発行：東京工業大学アニメ声優研究会ボイテック

# MEMO





**Voi-Tech**

**東京工業大学  
アニメ声優研究会**